



七松小学校 学校だより

令和8年度
8, 9月号
尼崎市立七松小学校
校長 高島 洋

☆ ホームページアドレス <https://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

2学期が始まります

年々暑さが増して、日差しが痛いと感じるような夏でしたが、夕暮れが早くなると、その終わりを寂しく感じます。そんな寂しさを吹き飛ばすように、子どもたちの元気な声が学校中に響き渡る2学期が始まりました。2学期は様々な行事がある学期です。たくさんのことにチャレンジしてほしいと思います。

7月28日に令和8年熊本地震が起きました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興を望みます。地震はいつ起こるか予測ができません。日頃からの備えが大切であると言われます。大きな地震が発生した時には七松小学校も避難所になる可能性があります。体育館前にはマンホールトイレが整備されています。また、今年度は、災害時に水を配るための応急給水拠点が整備されました。給水拠点は西門に入って、右に曲がった駐輪場の横にあります。学校に来校した際にはぜひご確認ください。

9月にはオープンスクールを予定しています。七松小学校での子どもたちの学習の様子をご覧いただきたいと考えていますが、その他にも、廊下などの掲示物も是非ご覧いただければと思います。学校をよくするために、子どもたちがタブレットで作ったポスターや子どもたちの学習のためにと、先生たちが考えた掲示物などがあります。是非、来校の際にはこちらもご覧いただければと思います。

さて、長い夏休みが終わりました。今年はどうような夏休みを過ごしたでしょうか。小学生の頃の夏休みというと何か特別な感じがします。人生100年時代と言われますが、長い人生の中で小学生の夏休みは6回しかありません。大人になると、夏休みの時期は小学生時代のようにわくわくすることが少なくなったように思えます。夏休みに普段とは違う体験、普段はしないような体験をすることで、きっと一回り成長していると思います。

夏休みもそうですが、当然、人生の中で小学生はたった6年間しかありません。この6年間は長い人生の中で大切な準備期間となります。現代は、予測困難や先行きが不透明と言われますが、今後の社会を「生き抜いていくための力」を小学生の間に少しずつ育んでいく必要があります。国語や算数などの教科は、将来、色々な選択をする時に役に立つものだと思います。教科以外にも学校では多くのことを学びます。現代において、企業が求める人材として、同僚や顧客の感情をくみ取り、信頼関係を築くためのエンパシー(共感力)やコミュニケーション能力が必要だと言われます。このような力は、学校や地域の中で多くの人と、関わり、ともに悩み、考えることで育まれるものだと思います。この力は将来の仕事以外でも、人生の中できっと出会う、思い通りにいかず、自分ひとりでは解決できない問題に対して必要になる力です。小学生の間に学校・家庭・地域で多くのことを学び、いろいろな経験をして、多くの人と関わり、これからの社会を「生き抜いていく力」を身につけてほしいと思います。

2学期も子どもの成長という同じ願いのもと、保護者の皆さん、地域の皆さんにご協力をお願いすることも多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。